

## 看護・介護上の注意事項

- △ 注意：医師・看護婦以外の方が取り扱う場合には、必ず、担当の医師・看護婦の許可と適切な指導を受けてからご使用ください。特に胃瘻チューブの取り扱いには必ず担当の医師の指導に従ってください。
- △ 注意：体動の著じるしく激しい患者さんの場合腹帯がズレて胃瘻チューブが引っ張られる可能性がありますので御使用いただけない場合もあります。
- △ 注意：本製品を使用中に異常があった場合にはただちに使用を中止して、必ず担当の医師・看護婦に報告してください。
- △ 注意：本製品の使用により発疹、発赤、かゆみ等の症状があらわれた場合には使用を中止し、医師又は看護婦に相談してください。
- △ 注意：本製品は常に清潔な状態にしてください。
- △ 注意：洗濯は製品の洗濯表示に従い手洗いにて行い、生地が消耗したり、破損した場合には新品と交換してください。
- △ 注意：寝たきりの患者さんがご使用の場合は褥創などに十分に注意してください。

### 医療従事者の方への注意事項

- ⊖ 禁止：経皮的内視鏡的胃瘻造設術（PEG）施行後、瘻孔形成期間中は本製品を絶対に使わないでください。胃瘻チューブの状態が確認できずトラブルの発見が遅れる場合があります。
- △ 注意：本製品の適応はそれぞれの患者さんの状態により適切にご判断ください。
- △ 注意：本製品は医療上の効能・効果をねらった製品ではありません。
- △ 注意：胃瘻孔と腹帯のポケットの位置が大きいくズレないようにご指導し、定期的に点検してください。
- ⊖ 禁止：腹帯を締めつけすぎますと、褥創が懸念されますので締めつけすぎないようにご指導ください。
- △ 注意：栄養投与の際にポケットの中で胃瘻チューブが屈曲したまま、栄養投与を行いますとチューブ内で栄養剤が詰まることがあります。
- △ 注意：本製品を使用の際には胃瘻チューブに必ず固定板を装着してください。胃瘻孔と本製品が直接、接触しないようにしてください。
- △ 注意：胃瘻チューブの取り扱いに関しては、ご使用中の胃瘻チューブの「使用上の注意」に従ってください。

### 注意禁止事項の表記について

△ 注意	危険が潜在的に存在し、危険を回避できなかった場合中程度または軽傷を負う可能性がある。または物的損害だけが発生する可能性がある。
⊖ 禁止	危険を回避するための禁止事項を示す。



クリエートメディック株式会社

横浜市都筑区茅ヶ崎南2-5-25

# ペグポケット

## 胃瘻用腹帯



ペグポケットは胃瘻チューブを保護する腹帯です。胃瘻チューブを使用しないときには、前面のポケットにチューブを収められるようになっていますから、使用されている方の違和感は少なくなり、また、看護・介護の面でも管理が容易になります。

- ・寝ている患者さんにも着脱が可能。
- ・肌着と同じ快適性。
- ・患者さんに優しい安心構造。

△ 注意：体動の著じるしく激しい患者さんには御使用になれない場合があります。

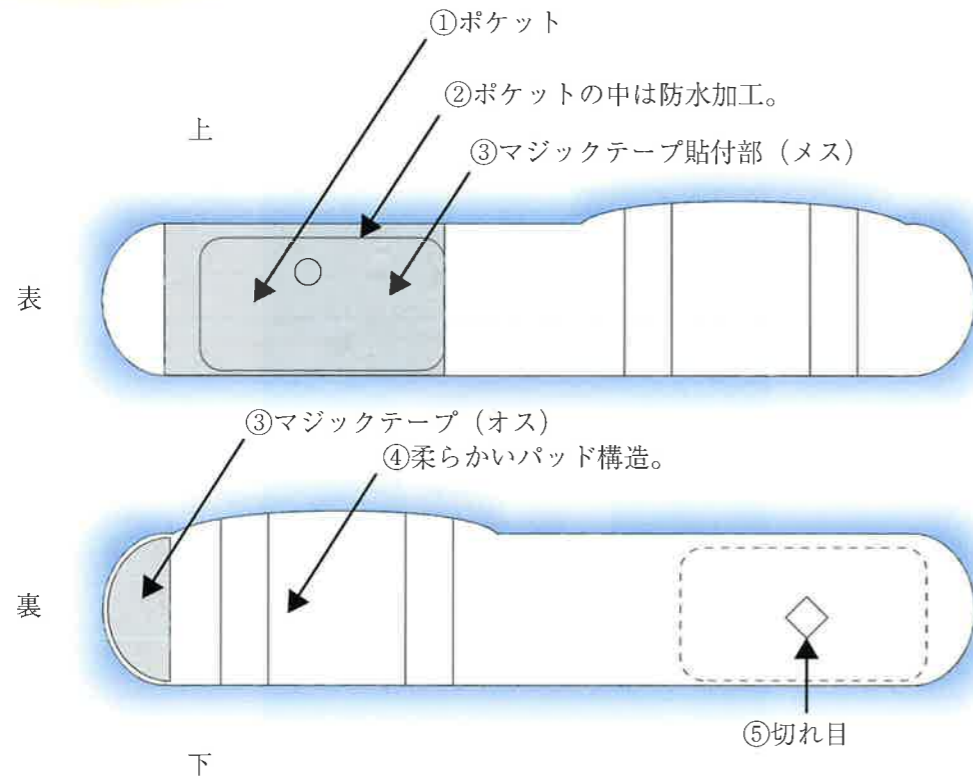
		サイズ		検査
	胸回り	品目コード		
S	65~77cm	005-320-0010		
M	72~84cm	005-320-0020		
L	79~92cm	005-320-0030		

2枚1組



クリエートメディック株式会社

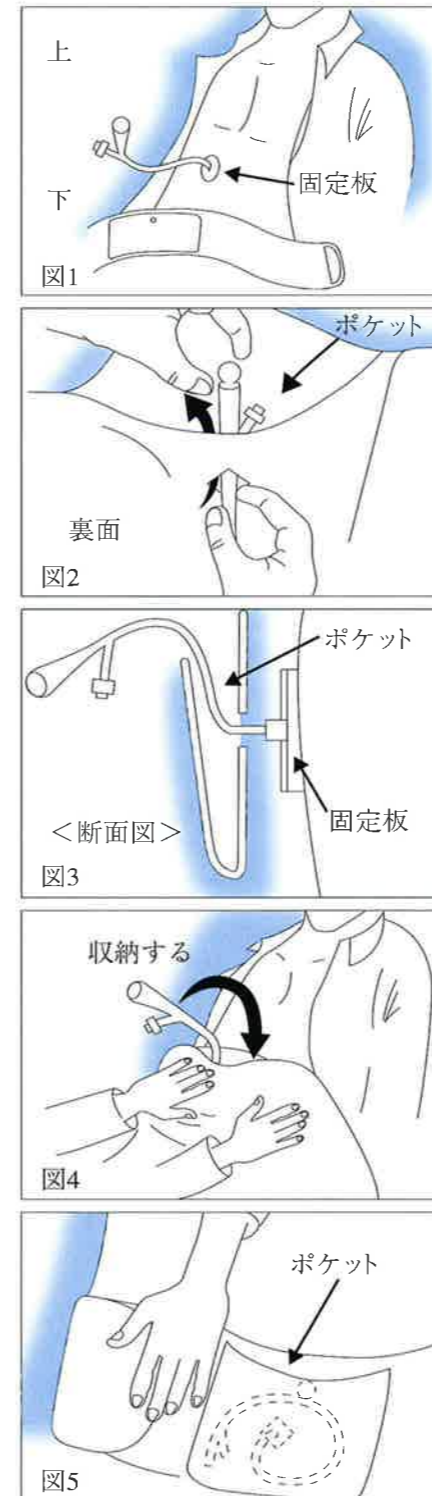
## 商品の仕様



## 特徴

- ① **独自のポケット構造**  
胃瘻チューブを収納するポケットです。胃瘻チューブで栄養投与を行わない場合はここに収納します。ポケットを閉じる部分もマジックテープを使用していますので取り扱いは簡単です。
- ② **防水加工が施されたポケット内部**  
汚れやすいポケットの中は防水加工を施してあります。
- ③ **着脱が簡単なマジックテープ**  
マジックテープを使用していますので簡単に着脱出来ます。
- ④ **肌着と同じ快適性<患者さんに優しい安心構造>**  
製品は肌着と同じ柔らかい素材で出来ています。さらに負担のかかる背中側はパッド構造にしています。
- ⑤ **胃瘻チューブをポケットの中に入れるための入り口です。**

## 装着手順



### 手順1

ペグポケットの上下と裏表を確認してください。(図1)  
\* ポケットのある側が表です。  
\* ポケットの口が開いている方が上です。

### 手順2

ペグポケットの裏面のチューブ挿入口から胃瘻チューブ\*注1の投与口をポケット内に通します。(図2)  
チューブは決して強くひっぱったり、傷つけたりしないでください。

固定板は通しません。(図3)

\*注1 胃瘻チューブは本製品には付属されていません。



### 手順3

胃瘻チューブの投与口がポケット内に入ったら、腹帯を体に当てて、胃瘻チューブはポケットの中に入れてください。(図4)

### 手順4

腹帯を体に巻いて、マジックテープを手でおさえて止めます。(図5)

### 手順5

- ・ 栄養投与を行う場合にはマジックテープを外し腹帯をゆるめてから、胃瘻チューブをポケットから取り出してください。
- ・ 栄養投与が終わったら胃瘻チューブの投与口に栓をしてから、ポケットの中に納めてください。収めたら手順4のようにマジックテープを手でおさえて止めます。